

### 第27回定期大会 ダイジェスト

## 新執行委員長に濱氏

JAM甲信は2025年9月19日（金）に、長野県千曲市の上山田温泉「ホテル圓山荘」に於いて、JAM甲信第27回定期大会を開催した。本大会は、新旧役員改選期にあたり、新執行委員長に濱章義氏（TPR労組）が就任する他、新体制が承認されるとともに運動方針を確認した。

（役員体制は次頁参照）

今年度の定期大会は11名の来賓のご臨席の下、代議員・傍聴など総勢151名が出席した。

冒頭、杉原執行委員長は「今年7月の参議院議員選挙において郡山りょうJAM組織内国会議員が誕生した。これまでのご支援と共に力強く戦い抜いて頂いたことに対し感謝申し上げます。当選が終わりではない、ものづくりに携わる仲間の生活向上のため、郡山議員にはしっかり活動して頂きたい」「2025年春闘について、極めて大きな成果を上げることが出来た。粘り強く交渉を継続して頂いた単組役員の方々の皆さまのご努力と、また職場から支え続ける組合員の皆さまの団結力の勝利だと思っている。ただ物価上昇が続いており、これまで以上に、価値を認め合う社会への取り組みを強化し、2026年度以降も粘り強い賃金交渉に取り組もう」と挨拶した。



挨拶を行う杉原執行委員長

郡山りょう参議院議員はWebにて「7月の参議院議員選挙の際には、皆さまの多大なるご支援の下94,610票を頂き当選することができた。これまで2年にわたるご支援とお力添えに心より感謝申し上げます」「一人ひとりの生産性を上げるための設備投資こそが、日本の工業を回復させる道である。そのために村田享子参議院議員との両輪で、皆さまの現場

の声を国政へ届ける」と力強く語った。



現場の声を国政へ!と誓う郡山参議院議員

2026-2027年度の役員就任にあたり、濱新執行委員長は「私が執行委員長という大役を引き受けることが出来たのは、皆さまや自身の単組の理解、協力があったことであり心より感謝申し上げます。構成単組の組合員の皆さまにしっかり支えて頂けるようにJAM甲信全体で盛り上げて取り組んでいきたい」と挨拶した。



濱新執行委員長（右）と佐野新書記長（左）

大会では、2025年度の活動報告と会計報告等が行なわれ、その後、第1号議案：2026-2027年度運動方針案、第2号議案：2026年度予算案に関する件、第3号議案：2026-2027年度役員改選に関する件、第4号議案：役員表彰に関する件が提案され、大会決議（案）、大会宣言（案）を含めて満場一致で可決、承認がされた。

最後に濱新執行委員長の団結ガンバローで大会は閉会となった。

# 【2026-2027年度JAM甲信役員体制】

☆印：新任

役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)	役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)
執行委員長	全 体	☆濱 章義 (TPR)	執行委員	山 梨	堀内 亮佑 (キッツ長坂)
副執行委員長 (地区協 議長)	山 梨 長 野 佐 久 中 信 上伊那 飯 田 諏訪北 諏訪南	櫻井 澄人 (キトー)	(地区協 事務局長)	長 野	青木 俊晴 (都筑製作所)
		☆須田 雄一 (カヤバ長野)	〃	佐 久	☆池田 明里 (シチズンミヨタ)
		☆三枝 昌寛 (TDK千曲川)	〃	中 信	米山 渉 (カイジョー松本)
		☆倉科 幹 (HDS)	〃	上伊那	☆林 祐樹 (タカノ)
		☆北澤 修己 (NTN上伊那製作所)	〃	飯 田	☆藤井 純子 (多摩川精機)
		☆井口 利広 (シチズン飯田)	〃	諏訪北	☆江間 俊介 (ミクナスFE)
		☆赤羽 理 (エグロ)	〃	諏訪南	☆堀井 大地 (セリオテック)
副執行委員長	男女共同参画	太田 昂志 (諏訪三社電機)	執行委員	上小連絡会	島滝 純 (松山)
		☆加藤 美保 (大和電機工業)	〃	男女共同参画	☆都筑奈緒美 (多摩川精機)
財政委員長	兼 務	☆太田 昂志 (諏訪三社電機)	会計監査	佐 久	☆盛野 恵太 (シチズンマシナリー)
書記長	専 従	☆佐野 亮一 (書記局)	〃	飯 田	☆佐々木陽信 (天竜丸澤)
副書記長	専 従	☆小林 秀樹 (書記局)	特別執行委員	青女協議長	☆米山 未来 (TPR)
顧 問		☆杉原 孝一 (TDK甲府)	〃	副議長	☆五味 志優 (諏訪三社電機)
		☆櫻井由紀夫 (書記局)	〃	男女共同参画	小尾ゆう子 (キトー)
			〃	男女共同参画	小林 志保 (電算印刷)
			〃	連合長野	竹村 進 (多摩川精機)
			〃	長野労金	小倉 康男 (松山)
			〃	長野労済	☆吉田 淳一 (STG)

※特別執行委員・顧問は選挙でなく執行委員長より委嘱

役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)	役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)	
執行委員長	全 体	杉原 孝一 (TDK甲府)	執行委員	佐 久	盛野 恵太 (シチズンマシナリー)	
副執行委員長 (地区協 議長)	長 野 佐 久 中 信 上伊那 飯 田 諏訪北 諏訪南	木村 卓彦 (信濃電気製錬)	(地区協 事務局長)	上伊那	竹澤 政幸 (キッツ伊那)	
		岩崎 直一 (シチズンミヨタ)	〃	飯 田	木下 達弘 (多摩川精機)	
		古畑 浩樹 (HDS)	〃	諏訪北	赤羽 理 (エグロ)	
		木下 政貴 (タカノ)	〃	諏訪南	吉田 淳一 (STG)	
		松田 俊英 (シチズン飯田)	〃	男女共同参画	加藤 美保 (大和電機工業)	
		濱 章義 (TPR)	〃	会計監査	中 信	小澤 高士 (サンコー松本)
		池田 明里 (シチズンミヨタ)	〃	〃	諏訪北	唐澤 誠 (大和電機工業)
副執行委員長	男女共同参画		特別執行委員	青女協議長	渡辺 龍伍 (シチズンミヨタ)	
財政委員長	諏訪北	濱 章義 (TPR)	〃	副議長	矢部はるな (シチズンマシナリー)	
書記長	専 従	櫻井由紀夫 (書記局)				
参 与		桜田 力 (前南アルプス市議)				

## ＊ ＊ 2026-2027年度の重点課題 ＊ ＊

－現場の声ではたらくを変えよう－

- 2025年・第27回参議院選挙の結果を踏まえた政策実現活動の強化
  - 第27回参議院選挙の総括を行い、3年後の取り組みにつなげます。
- 地区協活動の充実と単組支援体制の強化
  - 地区協幹事会における課題研修と情報交換を更に進めます。
  - 「出席して参考になった」という活動を目指します。
  - ☆ JAM甲信の役員の負担軽減と効率的な会議運営の構築を図ります。(更新・補強)
- 教育学習活動の強化
 

単組役員のリーダー育成を強化していきます。

  - 年間研修計画の実施による組合リーダーの育成
  - 単組課題に合わせた出前研修の継続実施
- 組織拡大
  - 組織の内外において仲間作りを強化します。

JAMは2025年8月28日から8月29日にかけて、岐阜市の岐阜グランドホテルで第27回定期大会を開催し、JAM甲信からは傍聴を含め19名が参加した。

冒頭で挨拶した安河内会長は、「7月の参議院選挙を力強く戦い抜いて頂いた全ての組合員の皆様に心より感謝申し上げる。参議院全国比例区の議席奪還は、9年ぶりでありJAMの悲願であった。3年前に村田享子参議院議員から受け取った勝利のバトンを3年後、村田議員に託すことができる。郡山りょう参議院議員には今後、現場の声をしっかりと集め、政策実現に尽力して頂きたい」「2025年春闘においては、賃上げ率が加重平均全体で5.42%、300名未満で4.72%であった。粘り強く交渉を継続した単組執行部の皆様のご努力と、それを職場から支え続けた組合員の皆様の団結力の勝利だと確信している。今後も、力強い賃上げが継続していくこと

が重要である。そのためには、引き続き粘り強い交渉をお願いしたい」と述べた。

大会では下段の2026-2027年度の運動方針（案）の他、「2026年度予算案に関する件」「第27回参議院議員選挙の中間まとめに関する件」など合わせて9件の議案が提案され、全て可決、承認がされた。



杉原執行委員長と参加した代議員・傍聴の皆さん

## \* 2026-2027年度の運動方針 \* (概要)

### [1] 職場に関する取り組み

(1) 雇用確保 (2) 賃金・労働条件に関する取り組み (3) 男女の均等待遇 (4) 安全衛生活動

### [2] 組織に関する取り組み

(1) 組織の強化 (2) 組織拡大 (3) 男女平等参画の推進 (4) 組織変革プロジェクト  
(5) 財政健全化 (6) 共済運動の推進 (7) 業種別部会の活動 (8) 大手労組会議の活動  
(9) 国際労働運動の推進 (10) 教育と人材育成 (11) 青年活動  
(12) 広報活動とICT活用の推進 (13) 大規模災害への対応 (14) シニアクラブへの取り組み

### [3] 社会に関する取り組み

(1) 「価値を認め合う社会へ」の実現 (2) ものづくり産業・中小企業の発展  
(3) 他産別・業界団体等との連携 (4) 政策・制度の取り組み強化 (5) 社会・労働政策の推進  
(6) 政治活動の強化 (7) 組合員と政治を繋ぐ政治活動の推進  
(8) つながり支え合う社会との連帯活動 (9) 大災害発生などに対する取り組み

## —2025年労働協約・年末一時金取り組み方針について—

2025年労働協約並びに年末一時金の取り組みにおいて、以下にJAMとしての取り組み方針の概略を記しますのでそれぞれご確認下さい。

※情勢や詳細については、「JAM甲信第27回定期大会の議案書・資料編」に記載されています。

### ■労働協約における最重点課題と重点課題

#### 1. 最重点課題

JAM労働時間指針に沿った労働時間に関する取り組み

#### 2. 重点課題

- ①高齢者雇用の取り組み
- ②多様性に対応した包摂的な雇用環境の整備
- ③安全で健康に働ける職場環境の整備
- ④労働協約の責務条項及び企業の財政状況について

#### 3. 要点検項目

- ①賃金・労働条件の実態の把握と分析、個別賃金要求準備、企業内最低賃金協定の点検
- ②物価上昇を踏まえた各種手当の点検
- ③退職金・企業年金の保全状況の把握等について

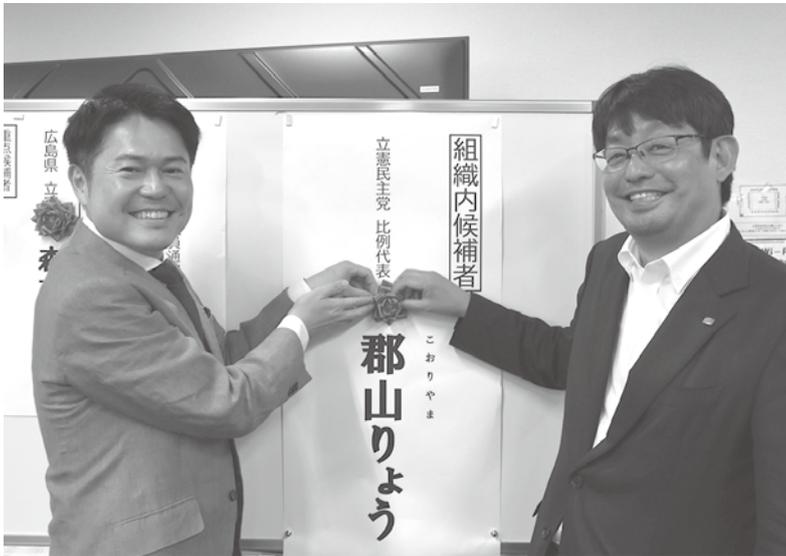
### ■年末一時金の取り組み

1. 年間5ヶ月基準または半期25ヶ月基準
2. 最低到達基準：年間4ヶ月または半期2ヶ月

### ■取り組みの日程

1. 労働協約  
要求提出：10月02日（木）まで  
回答指定日：11月06日（木）まで
2. 年末一時金  
要求提出：10月16日（木）まで  
回答指定日：11月06日（木）まで

# 勝利のバトンつなぐ 皆さまの団結と支えに感謝！



JAM安河内会長と喜びを分かち合う郡山りょう氏(左)

7月20日投開票の第27回参議院選挙において、JAM組織内候補者の郡山りょう氏が94,610票にて当選を勝ち取ることができました。JAMとして9年ぶりの参議院での議席奪還であり、村田享子参議院議員から託された勝利のバトンをつなぐことができました。組合員の皆さまの団結とお支えに心より感謝申し上げます。

## 【郡山りょう本人メッセージ抜粋】

これからが本番です。政治家としてではなく皆さまの代表として『現場の声ではたらくを変えよう』の実現に向けてしっかり取り組んでいきます。引き続きのご支援と現場の声をよろしくお願い申し上げます。

## 現場の声を国政へ 国会議員として第一歩

郡山りょう参議院議員は8月1日(金)に初登院し、JAM組織内国会議員として第一歩を踏み出しました。組織内国会議員が誕生したことにより今後は、現場の声を今までよりもスピーディーに国政へ届ける事が出来ます。賃金が上がる社会、自由時間が確保できる社会、不安のない社会の実現を達成するために郡山議員は尽力していきます。引き続き多くの皆さまの声とご支援をお願いいたします。



郡山りょう参議院議員 初登院



国会出席!村田議員が石破総理へ質問をする姿の後ろで真剣に聴く郡山議員



村田議員と郡山議員(右)でものづくり産業のツインタワー



国会の所属委員会一覧(立憲民主党HPより抜粋)

- 厚生労働委員会
- 予算委員会
- 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会



郡山りょう  
公式ウェブサイト  
ぜひご覧下さい。